梶原文生　×　猪熊純

まちづくりにおけるシェアの思想

-日本で生まれる新たなコミュニティの作り方-

上海　2018.11.8（木）15:00〜17:00　**在上海日本国総領事館 多目的ホール**
（長寧区万山路8号）
主催：誉都思建築咨詢(北京）有限公司、在上海日本国総領事館

北京　2018.11.10（土）10:00〜12:00　**MUJI HOTEL BEIJING**
（西城区煤市街廊房頭条21号院W2号楼）
主催：誉都思建築咨詢(北京）有限公司 / 後援：在中国日本国大使館

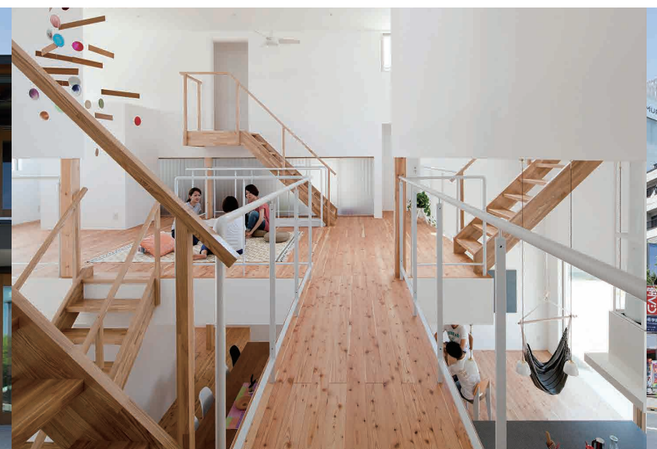
「シェア」という言葉は現代社会のキーワードの1つになってきています。
技術の発達によりモノや交通、知識等のシェアサービスが数多く登場してきています。

空間においてもシェアオフィスやシェアハウス等が既に社会の中で定着してきています。
現代の日本においては人間関係が希薄になり、繋がりを求めシェア空間を求めるニーズも顕在化しています。
また成熟期に入っている日本においては多くの床が余る状態にあり、
この状況への解答の1つとしてシェアやまちづくり等を手がかりに試行錯誤がなされています。

これらの現状を踏まえ今回はコミュニティ、まちづくりの視点で活躍されている
建築家/企画者の梶原文生氏、日本でのシェア研究の第一人者 建築家の猪熊純氏を招き
「まちづくりのおけるシェア」をテーマとした講演会を行います。

梶原 文生（Kajiwara Fumio）

東北大学工学部建築学科卒業。リクルートグループの不動産デベロッパーである株式会社リクルートコスモス（現 株式会社コスモスイニシア）を経て、1992年、建築コンサルティングを目的とした株式会社都市デザインシステム（現UDS）を設立し、コーポラティブハウス事業を開始。建築・不動産事業およびまちづくりに関わる企画・設計・デザイン業務を手がけつつ、独身寮から老人ホームへの再生や、ホテル、オフィス、商業施設へと事業を展開。2010年より「ホテル カンラ 京都」、「ホテル アンテルーム 京都」などコンバージョンによるホテル事業にて運営事業を開始。2011年には家族で中国へ移住し、2013年にUDS株式会社の中国子会社誉都思建筑咨洵(北京)有限公司を設立。現在は日本に戻り各国での多様なプロジェクトを手がけている。
UDS株式会社代表取締役会長、誉都思建建筑咨洵有限公司　董事長兼総経理。立命館大学大学院　客員教授（2014年〜2017年）、東北大学大学院 非常勤講師。

猪熊純（Inokuma Jun）

建築家 / 首都大学東京助教
1977年神奈川県生まれ。2004年東京大学大学院修士課程修了。2006年まで千葉学建築計画事務所勤務。2007年成瀬・猪熊建築設計事務所共同設立。2008年より現職。
代表作に「FabCafe Tokyo」「LT城西」「柏の葉オープンイノベーションラボ（31VENTURES KOIL）」「西武池袋本店別館・書籍館パブリックスペース」「豊島八百万ラボ」など。
主な受賞に、INTERNATIONAL ARCHITECTURE AWARDS、Architizer A＋Awards 2009　2015年日本建築学会作品選集新人賞　JID AWARDS 2015 大賞　第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 出展 特別表彰
著書に、『シェアをデザインする』（共著,学芸出版社）、『時間のデザイン』（共著,鹿島出版会）『シェア空間の設計手法』（責任編集,学芸出版社）